

平成28年度野幌森林再生活動連絡会を開催

今年の野幌森林再生活動連絡会を、2月17日（金）に石狩森林管理署会議室において開催しました。

「野幌森林再生団体型森林づくり」として活動している6団体、野幌森林公園内国有林を管理している石狩森林管理署及びオブザーバーとして空知総合振興局森林室、北海道博物館から参加していただき、計19名により意見交換を行いました。



各団体の活動状況

各団体の平成28年度活動実績及び次年度の活動計画を事務局より報告しました。今年度は、部分的に苗木の活着が悪い箇所への補植（2団体）を行ったほか、例年どおりの下草刈や植栽木の生長量調査、観察会等を実施していただきました。

また、次年度については、引き続き同様の活動を実施していきたいとの報告がありました。



連絡・留意事項

苗木の育成に欠かすことのできない保育としての下草刈は、植栽木が被圧されない程度まで実施することとし、下草刈完了後は、つる等による成長の阻害を受けないように、現地実態に即した効果的な整備を引き続き実施すること。さらに、天然に発生した郷土樹種の稚幼樹を残して育成し、外来種を抜き取ることにより、将来、「100年前の原始性が感じられる自然林を目指した森林づくり」が達成されることへの協力をお願いしました。

二つ目として「野幌自然環境モニタリング調査方針」に基づく、植栽木や天然生稚幼樹の生育調査を今後も引き続き実施していただけるようお願いしました。



野幌森林公園に関する情報提供

事務局から野幌森林公園内での「野幌自然環境モニタリング」の調査の取組状況について報告しました。

また、オブザーバーから野幌森林公園内の近況とエゾシカ食害状況等についての話題提供がありました。



森林再生活動に関する意見交換

各団体から活動時等における意見として、

- 下草刈・つる切除伐等の実施方法について
- 育成調査の手法・整理方法について
- 適地適木等の考え方等について
- 今後の活動や協定について

等の意見・要望がありました。

当センターでは、「野幌森林再生団体型森林づくり」が今後も円滑に実施されるように支援していくこととしています。

